

- 問1 大化の改新から律令国家の形成期にかけて確立された、土地と人民を国家が直接支配する仕組みについて述べた文章のうち、正しいものはどれですか。 (2023年 愛媛県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--|--|
| 1. 貴族や寺社が所有する大規模な私有地を「口分田」として公認し、そこから得られる収益を国家が管理する。 | 2. 新しく開墾した土地を「口分田」と呼び、開墾した者に三代にわたる私有を認める。 | 3. 戸籍に登録された六歳以上のすべての人々に「口分田」を与え、その人が死ぬと土地を国に返還させる。 | 4. 戸籍に基づいて、成人男性にのみ広大な土地を与え、その土地を自由に売買することを認める。 |
|--|---|--|--|
- 問2 奈良時代には律令制度に基づき、人々に「口分田」を割り当てる仕組みがありましたが、人口の増加によって分け与える土地が不足する事態となりました。この課題を解決し、土地の開墾を促すために聖武天皇が743年に出した、新しく開墾した土地の永久的な私有を認める法令を何といいますか。 (2023年 千葉県公立入試 類似)
- | | | | |
|-----------|----------|-----------|------------|
| 1. 公地公民の制 | 2. 班田収授法 | 3. 三世一身の法 | 4. 墾田永年私財法 |
|-----------|----------|-----------|------------|
- 問3 7世紀から9世紀にかけて、日本が唐（中国）に「遣唐使」を派遣した最大の目的として、最も適切なものはどれですか。 (2017年 千葉県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------------------------------|-----------------------------|-----------------------|----------------------------|
| 1. 日本の特産品を売って銀や銅などの資源を大量に獲得すること | 2. キリスト教の布教を日本で許可してもらうための交渉 | 3. 唐の進んだ制度や文化を取り入れること | 4. 唐と軍事同盟を結び、朝鮮半島へ共同出兵すること |
|---------------------------------|-----------------------------|-----------------------|----------------------------|
- 問4 墾田永年私財法の制定が、その後の社会に与えた影響について述べた文として、最も適切なものはどれですか。 (2018年 沖縄県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|---|--|
| 1. すべての土地と人民を天皇が直接支配する公地公民の制度がより厳格になった。 | 2. 6歳以上の男女に口分田を与え、死後は国に返還させる班田収授法が全国で初めて実施された。 | 3. 豊臣秀吉によって全国の土地の広さや質が調査され、土地の所有者が確定した。 | 4. 貴族や寺社が財力を背景に大規模な開墾を行い、荘園と呼ばれる私有地が形成されるようになった。 |
|---|--|---|--|
- 問5 聖武天皇が全国に国分寺を建立させ、東大寺に巨大な大仏を造らせた歴史的背景として、最も適切な説明はどれですか。 (2017年 奈良県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|--|---|
| 1. 大陸から伝わった高度な鑄造技術を誇示し、近隣諸国に対して国威を示そうとしたため。 | 2. 遣隋使によってもたらされた新しい仏教の教えを、国民に広く普及させるため。 | 3. 疫病の流行や反乱などの社会的不安を、仏教の力によって鎮めようと考えたため。 | 4. 蘇我氏などの有力豪族が持つ権力を抑え、天皇中心の中央集権体制を確立するため。 |
|---|---|--|---|
- 問6 飛鳥時代から平安時代にかけての古代の日本で行われた、唐との交流やその影響について述べた文として正しいものはどれですか。 (2025年 北海道公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|---|---|
| 1. 中世の時代に遣唐使が派遣され、鑑真によって新しい仏教の教えが伝えられた。 | 2. 朱印船を用いた貿易が盛んになり、その航路を利用して鑑真が古代の日本へ招かれた。 | 3. 遣唐使に代わって中世の朱印船が派遣されるようになり、大陸の文化が日本に広まった。 | 4. 遣唐使の派遣を通じて唐の文化や制度が取り入れられ、僧侶の鑑真が来日した。 |
|---|--|---|---|
- 問7 8世紀の日本では、仏教の教えが広まる一方で、僧侶が守るべき厳格な規律が整っていないという課題がありました。この状況を改善するために、聖武天皇の招きに応じ、5度の渡航失敗や失明という苦難を乗り越えて唐から来日した高僧は誰ですか。 (2025年 神奈川県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------|-------|-------|-------|
| 1. 鑑真 | 2. 最澄 | 3. 空海 | 4. 行基 |
|-------|-------|-------|-------|
- 問8 班田収授法によって口分田を与えられた農民には、さまざまな税の負担が課せられました。このうち、口分田の収穫から約3パーセントの稲を納める義務を何と呼びますか。その名称と内容として適切なものを選びなさい。 (2018年 大阪府公立入試 類似)
- | | | | |
|------------------------------------|-----------------------------------|--------------------------------------|------------------------------------|
| 1. 「租」と呼ばれ、地方の役所に納められて国や地方の備蓄となった。 | 2. 「庸」と呼ばれ、都での労役の代わりに布を納める負担であった。 | 3. 「公出挙」と呼ばれ、国から稲を借りて利息をつけて返す制度であった。 | 4. 「調」と呼ばれ、地方の特産物を都まで運んで納める負担であった。 |
|------------------------------------|-----------------------------------|--------------------------------------|------------------------------------|
- 問9 奈良時代の平城京を中心とした国づくりにおいて、仏教の力で国の不安を取り除こうとする「鎮護国家」の思想に基づき、全国に国分寺・国分尼寺を建て、東大寺に大仏を造立した天皇は誰ですか。 (2021年 岐阜県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 1. 天智天皇 | 2. 聖武天皇 | 3. 聖徳太子 | 4. 藤原道長 |
|---------|---------|---------|---------|
- 問10 奈良時代に編纂された書物のうち、中央政府の正史としてまとめられた『日本書紀』や『古事記』と比較した際の、『風土記』の特徴として適切な説明はどれですか。 (2023年 静岡県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|--|---------------------------------------|
| 1. 地方の国ごとに、土地の産物や地名の由来、古くから伝わる伝承などが記録された。 | 2. 律令制度に基づく税の徴収を目的として、各地の戸籍や土地の面積を詳細に記した。 | 3. 万葉仮名を用いて、天皇から防人、農民まで幅広い階層の人々が詠んだ歌をまとめた。 | 4. 天皇の系譜や国家の成り立ちを、神話や伝説を交えて年代順に体系化した。 |
|---|---|--|---------------------------------------|
- 問11 遣唐使の要請によって来日した鑑真が、当時の日本において果たした最も重要な役割は何ですか。当時の政治体制（律令制度）との関わりに注目して選んでください。 (2019年 秋田県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|-------------------------------------|---|
| 1. 正式な僧となるための儀式を行い、僧が守るべき規範を広めて国家による仏教統制を支えた | 2. 武士の勢力を結集して平将門の乱を鎮め、天皇中心の政治を盤石なものにした | 3. 東北地方の豪族をまとめ上げ、平泉を中心に独自の仏教文化を開かせた | 4. 大化の改新のあとに、公地公民の原則に基づいた新しい土地制度を全国に広めた |
|--|--|-------------------------------------|---|
- 問12 奈良時代の聖武天皇の時期、政府はそれまで維持していた「すべての土地は国家のものである」という公地公民の原則を緩和しました。新しく開墾した土地を永久に個人のものであるとして認めることで、人々の開墾意欲を高め、税収を確保しようとした法令を何といいますか。 (2019年 埼玉県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------|------------|-----------|----------|
| 1. 武家諸法度 | 2. 墾田永年私財法 | 3. 公事方御定書 | 4. 御成敗式目 |
|----------|------------|-----------|----------|
- 問13 奈良時代に設けられた「防人」の制度について述べた文として、当時の社会状況や地理的条件を踏まえた正しい説明はどれですか。 (2017年 埼玉県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|-------------------------------------|--|------------------------------------|
| 1. 朝鮮半島から移り住んだ渡来人によって組織され、東北地方の蝦夷を鎮圧した。 | 2. 大宰府の役人として採用され、大陸からの使節を接待する役割を担った | 3. 主に東国の農民から選ばれ、国防の重要拠点であった九州北部の警備にあたった。 | 4. 朝廷に直接仕える近衛兵として、都の平城京の警護を専門に行った。 |
|---|-------------------------------------|--|------------------------------------|

答え合わせ・解説

問1	答え 3 戸籍に登録された六歳以上のすべての人々に「口分田」を与え、その人が死ぬと土地を国に返還させる。	律令制度の下では「公地公民」の原則に基づき、土地は国家のものとされました。そのため、戸籍を作成して民衆を把握し、六歳以上の男女に「口分田」を割り当て、死後は国に返すという班田収授法が実施されました。これにより、国家は安定して「租（稲の収穫の約3%）」を徴収する仕組みを整えました。
問2	答え 4 墾田永年私財法	律令国家の基本原則である「公地公民」のもとでは、土地はすべて国家のものとされていましたが、人口増加に伴う「口分田」の不足が深刻化しました。そこで、政府は人々の開墾意欲を高めるために、苦勞して切り開いた土地を永久に自分のものにすることを認める「墾田永年私財法」を制定しました。これが後に、貴族や寺院による大規模な私有地である「荘園」が広がるきっかけとなりました。
問3	答え 3 唐の進んだ制度や文化を取り入れること	当時の日本は、強大な中央集権国家であった唐の法律（律令）や仏教、芸術などを学ぶことで、日本の国家体制を整えようとしていました。この使節団には、役人のほかに最澄や空海のような学問僧、さらには留学生も多く含まれていました。
問4	答え 4 貴族や寺社が財力を背景に大規模な開墾を行い、荘園と呼ばれる私有地が形成されるようになった。	墾田永年私財法の制定により、開墾した土地の永代私有が認められると、豊かな経済力を持つ中央の貴族や大寺社は、農民や浮浪者を利用して盛んに土地を切り開きました。こうして成立した大規模な私有地は荘園と呼ばれ、律令国家が理想とした公地公民制を崩壊させる要因となりました。
問5	答え 3 疫病の流行や反乱などの社会的不安を、仏教の力によって鎮めようと考えたため。	当時の日本は、天然痘（疫病）の爆発的な流行や、藤原広嗣の乱といった政治的混乱の中にありました。聖武天皇は、このような災いから国家を救うために鎮護国家の思想にすがり、東大寺を全国の国分寺の総本山と位置づけて大仏を建立しました。
問6	答え 4 遣唐使の派遣を通じて唐の文化や制度が取り入れられ、僧侶の鑑真が来日した。	古代の日本は、唐の優れた制度や文化を吸収するために遣唐使を派遣しました。その交流のなかで、鑑真が日本の仏教の規律を整えるために多くの困難を乗り越えて来日しました。朱印船や中世という語句は、遣唐使が活躍した古代よりも後の時代の事象を指すため、不適切です。
問7	答え 1 鑑真	当時の日本には僧侶が正式な資格を得るための「戒律」を受ける仕組みが不足していました。唐の僧である鑑真は、この戒律を伝えるために日本へ渡り、東大寺に戒壇（戒律を受ける場所）を設けました。これにより、国家公認の僧侶としての質を維持する制度が確立されました。選択肢にある行基は民衆への布教や社会事業、最澄と空海は平安時代初期に新しい仏教を伝えた人物です。
問8	答え 1 「租」と呼ばれ、地方の役所に納められて国や地方の備蓄となった。	口分田の面積に応じて課せられた税が「租」です。これは収穫した稲の約3%という比較的軽い負担であり、地方にある「正倉」という倉庫に納められ、地方政治の財源や飢饉に備えた備蓄として利用されました。これに対し、都まで運ぶ必要があった「調」や「庸」は農民にとって非常に重い負担となっていました。
問9	答え 2 聖武天皇	奈良時代、社会の混乱や伝染病の流行が続くなか、仏教の力によって国家を安定させようという政策がとられました。この政策を推進したのが聖武天皇であり、皇后である光明皇后とともに仏教を厚く信仰し、都の東大寺に巨大な大仏を建立しました。聖徳太子は飛鳥時代、天智天皇（中大兄皇子）は公地公民を定めた大化の改新、藤原道長は平安時代の摂関政治の人物です。
問10	答え 1 地方の国ごとに、土地の産物や地名の由来、古くから伝わる伝承などが記録された。	風土記は、中央から派遣された国司がその国の情報をとりまとめたものです。朝廷が各地域の資源や文化を把握しようとした目的が背景にあります。一方で、日本書紀や古事記は天皇中心の国家形成の正当性を説くための歴史書であり、記述の対象や目的が異なります。
問11	答え 1 正式な僧となるための儀式を行い、僧が守るべき規範を広めて国家による仏教統制を支えた	当時の日本では、重い税（租・庸・調）を逃れるために勝手に僧侶になる者が増え、国家財政や秩序に影響を与えていました。鑑真は、正式な僧となるための資格を授ける「授戒」の仕組みを導入し、僧侶の質を管理することで、律令国家における仏教のあり方を整えることに大きく貢献しました。
問12	答え 2 墾田永年私財法	743年に制定されたこの法令は、人口増加による食糧不足を解消するために、自らの力で新しく耕した土地については、子孫代々にわたって私有することを許可したものです。それ以前は三世代に限定して私有を認めるなどの措置が取られていましたが、より強い動機づけのために永年（永久）の私有が認められました。
問13	答え 3 主に東国の農民から選ばれ、国防の重要拠点であった九州北部の警備にあたった。	防人は、当初は全国から集められましたが、後に主に東国（現在の関東地方など）の農民がその任にあたることとなりました。派遣先は太宰府の管轄下にある九州北部であり、家族と離れて遠方の国境を守るといった重い負担は、当時の農民を苦しめる要因の一つとなりました。東北の蝦夷対策にあたったのは主に「鎮守府」などに配属された兵士であり、防人とは区別されます。